

月日 (校時)	単元名	教材名
6月13日 (水) 3校時	小数のわり算	小数のわり算を考えよう
本時のねらい (3/14) ○小数÷小数の計算の仕方について理解する。		
評価規準 考 小数÷小数の計算の仕方を。除法の性質を用いて整数の計算に帰着して考え、説明している。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 11:30	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合しましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 問題提示 11:32 見通し 課題把握 11:37 11:42 自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 11:50 ・考察 12:05 まとめ 12:07	<p>1 問題を読む。</p> <p>6. 3mの重さが7.56kgの鉄のぼうがあります。この鉄のぼう1mの重さは何kgですか。</p> <p>○問題を見て前の時間と違うこと、求め方を考えましょう。 今日は1mの重さを求めるので、わり算を使う。 昨日の問題とちがって小数÷小数になっている。 わる数を整数にするためには、わられる数とわる数を10倍すればよい。 式は7.56÷6.3</p> <p>2 課題を把握する。</p> <p>小数÷小数の計算の仕方を図、言葉、式で説明しよう。</p> <p>シラバス：(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(8分)) 言語わざ：「つまりを使って説明する」 キーワード：<u>わる数</u> <u>わられる数</u> <u>商</u> <u>わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない。</u></p> <p>3 小数÷小数の計算の仕方を考えましょう。</p> <p>4 ○考えた事を班で伝え合って下さい。話し合いが終わった班は、ホワイトボードに考えをまとめて下さい。</p> <p>5 考えたことを説明する。 ○班で話し合ったことを発表して下さい。 ・わり算の性質としてわられる数とわる数に同じ数をかけても答えは変わらないので、わられる数とわる数を10倍すると6.3は63になり整数になります。75.6÷63を計算すると答えは1.2kgになります。 ○今日の学習から小数÷小数の問題を解くときに大切なことはなんですか。 ・まず、わる数を整数にするためには、何倍すればよいか考える。次に、○倍する数をわられる数とわる数の両方にかける。最後に計算して商を出す。</p> <p>小数÷小数の計算の仕方は ①わる数を整数にするためには何倍すればよいか考える。 ②何倍するかきいたらわられる数とわる数にその数をかける。 ③小数÷整数を計算する。</p>	<p>・4年生までに小数÷整数の問題まで学習していることを促し、わる数を整数にすればできることを確認する。 ・わり算はわる数とわられる数に同じ数をかけても証は変わらないことを確認する。</p> <p>・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。*リーダー</p> <p>・考え方が分からない児童は、友だちの考えを自由に見にいこうように伝える。</p> <p>考 小数÷小数の計算の仕方を。除法の性質を用いて整数の計算に帰着して考え、説明している。(ノート・発言)</p> <p>・グループの手引きを見ながら、話し合いをさせる。 ・二つのグループに分けて話し合いを進める。</p>
【終末】 ふりかえり 適用問題	5 学習したことを振り返る。 2. 38÷1.7	・キーワードを使って5行以上振り返りを書くように促す。